



# #メイドインジャパンを増やす

## ～AI・デジタルに係る国家戦略を特命担当大臣と議論～

2025年11月28日、第219回国会における「デジタル社会の形成及び人工知能の活用等に関する特別委員会」で質疑に立ち、小野田内閣特命担当大臣、今枝デジタル副大臣にAI・デジタル分野の国家戦略に対する課題認識を提起しました。引き続き皆様からの声を国政に届け、「#メイドインジャパンを増やす」をはじめとする政策の実現に取り組みます。

当日の質疑の様子はこちら



(参議院インターネット審議中継)

### AI稼働に不可欠なデータセンターの基盤強化

海外のテック企業は数百兆円規模の投資を進めている一方、日本では2035年に最大45兆円の「デジタル赤字」が試算されており、国際競争力の格差拡大が懸念されています。国産AIの重要性が高まる一方、AIや半導体を自前で持てない構造的課題が顕在化し、信頼できる国内基盤の整備が急務となっています。こうした課題認識をふまえ政府の見解を質しました。



#### 答弁する小野田内閣特命担当大臣

基幹部品について開発力を強化していくことも非常に重要。AI基本計画に盛り込むべく、議論を進めていく。



#### 政府見解を質す「平戸航太」

国産AIを開発してもデータセンターが海外製であれば安全保障の観点から課題が残る。基幹部品には日本製を使用し、政府としてもその開発を支援する旨を、策定中の基本計画に盛り込み願いたい。

### データ利活用のさらなる推進

【現状・課題認識】 データは幅広い分野で基盤となり、現代社会を支える重要な資源。日本は法的位置づけが不明確で国際的なルール形成に遅れを取っている。顔認証データの利用は制度的に不透明で、法的リスク回避のため活用が控えられるケースもある。

【平戸航太】 データは保護と利活用のバランスが非常に重要。リスクベースで用途別に対応できる制度整備を進め、利活用を推進していくべき。

【政府参考人】 諸外国の取り組みを参考にしつつ、我が国の実態に即した制度整備に向けて、保護と利活用のバランスを考慮しながら制度づくりを進めていく。

### 自動運転の社会実装加速に向けて

【現状・課題認識】 2025年度50カ所、27年度100カ所以上との目標に対し現状9件と遅れが目立つ。海外では自動運転機能やユーザー体験を大規模かつ迅速に進化させ、日本とは対照的。安全を前提に制度・技術両面で社会実装を加速する必要がある。

【平戸航太】 自動車産業は世界を牽引する日本の産業。諸外国に遅れをとらないよう、政府が旗振りをして社会実装を加速していくべき。

【今枝デジタル副大臣】 自動運転事業化の加速のために、先行的に事業化に取り組む地域を10カ所選定し、関係府省庁の支援策を集中的に投入し、一気に加速していく。

一緒に「新しい答え」をつくっていただける党员・サポーターを募集しています。お申し込みはこちらのQRコードから。

